

地方独立行政法人福岡市立病院機構
令和5年度第8回理事会 議事録（要旨）

- 日 時：令和6年1月24日（水）15:55～16:35
- 場 所：こども病院 講堂
- 出席者：原理事長（議長）、堀内副理事長、瓜生理事、神坂理事、楠原理事、平田理事、
近藤監事、柳澤監事 [欠席：石橋理事]
- 議 事

【報告事項】

1 令和5年度決算見込について

<概要>

令和5年度決算見込について、事務局より報告を行った。

<主な意見等>

- 救急搬送件数の達成率が両病院とも高く、市民への貢献につながっていると思う。
また、薬品費対医業収益比率の達成率は両病院とも低いことは、両病院同じような傾向になっていると思った。
さらにジェネリック医薬品導入率の達成率は、両病院とも100%を越えていることから十分にジェネリックを使っていることが見える。
- 薬品費対医業収益比率については、こども病院では、今年度約1億6千万円の高額の薬品を使用したためその分を除くともう少し達成率は高くなる。
- 苦しい経営の中でよく頑張っていると思う。前回の給与規程の改正分はこの決算見込みに反映しているのか。
- 今回の決算見込みに反映している。

2 省エネルギー取組方針の策定について

<概要>

省エネルギーの推進について、当機構としても診療環境確保を前提とした上で出来る省エネルギー対策に取り組むため、「省エネルギー取組方針」を策定したことについて、事務局より報告を行った。

<主な意見等>

- 省エネは無理や辛抱をするのではなく、小さなエネルギーで同じような効果が得られるような考え方を前提においてやってほしい。
また、こども病院で太陽光パネルを屋根に設置する場合、基礎を作る際に建物に水が漏れないように施工業者に要求をしっかりとしてほしい。
さらに市民病院は、あり方について検討されているので、あり方の状況に応じて織り込んでいただきたい。
- 省エネルギーの推進について、今回は国からの注意喚起により取組みをはじめているようだが、一般企業では目的として2つ、一つは企業が環境に対して考えているという姿勢、もう一つは経費削減という意識がある。今回のこども病院での対策として投資が入るが、その際に省エネのためと言って多額の投資をすることがないよう、その投資を還元、回収する意識も持っていただきたい。また、太陽光パネルを設置している企業で、太陽光による発電量を表示して環境に配慮しているアピールしているところもある。

3 職員団体表彰（年末表彰）について

<概要>

職員団体表彰（年末表彰）について、事務局より説明を行った。

（受賞内容）

《最優秀賞 2件》

○テーマ：COVID-19に対する全職員の取組

受賞者：福岡市立こども病院 職員一同

○テーマ：アフターコロナを見すえた「断らない救急医療」の取組

受賞者：福岡市民病院 救急部

《優秀賞 1件》

○テーマ：COVID-19に対する全職員の取組

受賞者：福岡市民病院 職員一同

《努力賞 1件》

○テーマ：時間外労働規制に対応した勤怠管理システムの導入

受賞者：福岡市立こども病院、福岡市民病院、運営本部 勤怠管理システム刷新WG

《特別賞 1件》

○テーマ：人命救助

受賞者：福岡市民病院 初期臨床研修医

<主な意見等>

○ この表彰は誰が評価をし、評価基準はあるのか。また、この表彰には副賞が付いているのか。

● この表彰の評価は、両病院の事務部長及び運営本部長、またオブザーバーとして両病院の総務課長で構成して評価をしている。

副賞は、金一封で最優秀賞から努力賞までについて団体及び個人に対して5万円から1万円の範囲でお渡ししている。

○ 表彰は妥当だと思うが、受賞者が職員一同となっており、その中でもコロナ病棟で直に患者を診ている部署の評価をしてもいいのではないかと、どちらかというとケアの部分が大変だったかと思うのでそういう所に配分をしても良かったのではないかと、意見として述べておく。